

日本癌治療学会・ファイザー 公募型医学教育プロジェクト助成 高齢がん患者支援に取り組む 医療従事者への教育プロジェクト

外部有識者審査プロセス

本公募の概略

がん対策推進基本計画では、高齢のがん患者やその家族が望んだ場所で適切な医療や療養支援を受けられる、包括的な医療体制の構築に向けた是正・改善が課題となっています。高齢のがん患者を取り巻く医療の改善に向け、日本癌治療学会とファイザーは協働で医療関係者に対する教育プロジェクトを対象とした公募をすることとしました。

対象国

日本

対象疾患 / 目的

本公募は高齢がん患者支援に取り組む教育プロジェクトを対象とする。

- 高齢がん患者に対し、適切な評価基準に基づいたがん医療・ケアおよび生活支援を行うことができる医療従事者の育成に必要な教育プロジェクト
- 高齢がん患者との医療コミュニケーションの向上や Shared Decision Making が行われる環境整備を促す医療従事者に対する教育プロジェクト
- 高齢がん患者および家族等に存在する社会格差・情報格差を踏まえた、適切ながん医療やケアへのアクセスを支援する教育プロジェクト
- 高齢がん患者あるいはその家族等が求める支援を包括的に学び、必要な知識と技術の向上を促すプロジェクト
- 高齢がん患者を支える地域包括的なチーム医療（かかりつけ医・介護施設・訪問看護ステーション・薬局等を含む）や、施設を超えた多職種間連携のために必要な教育プロジェクト

締切日等 スケジュール

- 公募締切日: 2023 年 5 月 31 日
- 一次審査結果通知: 7 月
- 助成金を使用したプロジェクトの開始日: 2024 年 1 月 1 日

助成額 / プロジェクトの実行期間

- プロジェクト1件あたりの助成上限額
 - ◇ 大規模プロジェクト: 10,000,000 円
 - ◇ 小規模プロジェクト: 5,000,000 円
- 2024 年 1 月 1 日 - 2026 年 12 月 31 日（最長 3 年間）

I. 応募資格

対象国:

- 日本

申請団体要件:

以下の施設・団体に所属し、その所属施設・団体として申請してください。個人として申請することはできません。

- 大学、大学病院、地域中核病院、その他医療系の教育機関
- 医療系の学会・研究会等
- 医療系の財団法人・NPO 法人等(疾患領域に関する活動を行っている法人、患者会、患者支援団体など)
- 医師会・薬剤師会・歯科医師会

他施設／他団体と連携したプロジェクトの場合、すべての施設・団体が意味のある役割を果たし、その中でも申請する施設・団体が最も重要な役割を果たすこととします。

応募の際には、各所属施設・団体からの了解を得てください。

II. 公募詳細

公募開始日:

- 2023年4月5日

公募対象疾患:

- オンコロジー

本公募の目的:

がん対策推進基本計画(第4期)では、多職種での連携や地域の医療機関等との連携を強化し、高齢のがん患者やその家族が望んだ場所で適切な医療やケアを受けられること、療養生活の質の向上のために適切な支援を受けられることを目指しており、非高齢者と同様に包括的な医療・ケア体制の是正・改善が課題となっています。^{#1}高齢者のがんに対する治療選択は、全身状態や併存疾患だけでなく認知機能を加味し、標準的治療の適応とならない場合等があります。こうした判断は、医師の裁量に任されていることが課題とされ、標準となる高齢者がん診療やがん患者の意思決定支援に関する施策が推進されています。^{#1,2}高齢のがん患者は、認知症・心疾患や生活習慣病等の複数の慢性疾患を有している、独居または同居家族の負担が大きくなる、介護事業所等に入居している、インターネット(デジタルデバイス)を使いこなせないなど、社会格差・情報格差に関する様々な配慮が必要です。より適切ながん医療および療養生活の支援を受けられるための地域連携や相談支援体制、デジタル技術の活用に関する施策が求められています。^{#1,3,4}

上記背景をふまえ、本公募では高齢がん患者支援に取り組む教育プロジェクトを対象とします。

- 高齢がん患者に対し、適切な評価基準に基づいたがん医療・ケアおよび生活支援を行うことができる医療従事者の育成に必要な教育プロジェクト
- 高齢がん患者との医療コミュニケーションの向上や Shared Decision Making が行われる環境整備を促す医療従事者に対する教育プロジェクト

- 高齢がん患者および家族等に存在する社会格差・情報格差を踏まえた、適切ながん医療やケアへのアクセスを支援する教育プロジェクト
- 高齢がん患者あるいはその家族等が求める支援を包括的に学び、必要な知識と技術の向上を促すプロジェクト
- 高齢がん患者を支える地域包括的なチーム医療(かかりつけ医・介護施設・訪問看護ステーション・薬局等を含む)や、施設を超えた多職種間連携のために必要な教育プロジェクト

注意事項: 臨床試験(介入／非介入)、非臨床試験、疫学研究、レジストリー構築等の研究を含むプロジェクトは本公募の対象外です。また COI の観点より、診療ガイドラインやガイダンス等の作成が含まれるプロジェクトも助成対象外とします。

教育プロジェクトの対象者(受講者):

- 主に高齢者医療やがん医療、ケアに関わる医療従事者(医療・看護・介護・福祉を担う機関や施設等)

本公募の助成額:

- プロジェクト1件あたりの助成上限額 大規模プロジェクト 10,000,000 円
小規模プロジェクト 5,000,000 円

スケジュール:

- 公募開始日:2023 年 4 月 5 日
- 一次申請 (Letter of Intent) 締切日:2023 年 5 月 31 日 (アメリカ東部時間)
- 一次審査:2023 年 7 月
- 一次審査 結果通知:2023 年 7 月

(一次審査を通過した場合)

- 最終申請 (Full Proposal) 締切日:2023 年 8 月 (アメリカ東部時間)
- 最終審査:2023 年 8 月
- 最終審査 結果通知:2023 年 9 月
- 助成金はファイザー株式会社との教育助成契約締結後に支払われます。
- 助成金を使用したプロジェクトの実行: 2024 年 1 月 1 日～2026 年 12 月 31 日(最長 3 年間)

申請方法:

- 申請はオンラインにて、ファイザー米国本社の申請システムよりお願いします。
<http://www.cybergrants.com/pfizer/loi>
- 初めて申請をされる方は、まず“Create your password”をクリックし、アカウント登録を完了してください。
- 申請に際しては、こちらの[申請の手引き](#)をご参照ください。
 - “Are you replying to a Request for Proposal as part of the Competitive Grant Program?” の質問には **必ず Yes** を選択してください。

- Competitive Grant Program Name の選択では、“2023 ONC JP: Committing to Support Elderly Cancer Patients”を選択してください。
 - Primary Area of Interest の選択では”Oncology – Other”を選択してください。
- 申請に必要な情報を申請システムに英語で入力してください。
- **注意事項:** 申請タイプを間違えて提出がなされた場合、または締め切り後に提出された場合は、その理由如何によらず、受領できないことを予めご了承ください。

お問い合わせ:

- ファイザー MEG-J事務局
meg.japan@pfizer.com
- お問い合わせの際、件名に、今回の公募タイトル「高齢がん患者支援にとりくむ医療従事者への教育プロジェクト」をご記載ください。

助成契約:

- 助成金が承認された場合、ファイザーと書面による助成金契約を結ぶ必要があります。契約の主要な条件を表示するには、[こちら](#)をクリックしてください。
- ファイザーはバランスが取れ、合理的であるように、且つファイザー/申請団体両者の目的を推進するために、これらの契約条件を定めました。助成金契約の手続きには多くのリソースが必要となります。そのため、申請を進める前に、所属施設・団体（法務部門を含む）がこれらの条件を順守できることを確認してください。

審査:

- 本公募により受け付けた助成申請は、外部審査委員会によって最終的な助成の決定が下されます。
- 外部審査委員会は、日本癌治療学会が選定する癌領域の専門家を中心として構成されます。

その他注意事項:

- ご申請後の連絡（採択結果含む）はメールにて行います。
- レビューに必要な追加情報・資料の提出などを依頼することがありますので、予めご了承ください。
- 助成プロジェクト開始後、半年に1度、進捗を報告頂きます（中間報告）。また、プロジェクト終了後、最終報告を提出していただきます。
- 助成契約締結後、止むを得ない事情により、申請内容（プラン、スケジュール、助成金使途、プロジェクトメンバーなど）に変更が生じた場合は、必ずご連絡ください。
- 採択施設（団体）はプロジェクトの概要を第 62 回日本癌治療学会学術集会（2024 年）で発表して頂き、最終的なプロジェクトの成果は以後の日本癌治療学会学術集会で発表して頂きます。
- 2021 年度・2022 年度の日本癌治療学会／ファイザー協働公募にて採択となったプロジェクトが応募申請時において進行中の場合には、プロジェクト代表者は本公募に申請することはできません。

リファレンス

- #1: がん対策推進基本計画(第4期)(厚生労働省 がん対策推進基本計画)
- #2: 高齢者がん診療ガイドライン 2022 年版(厚生労働省科学研究 がん対策推進総合研究事業)
- #3: 第4期がん対策推進基本計画に対するがんとの共生のあり方に関する検討会からの提言(第 84 回がん対策推進協議会)
- #4: 令和 3 年版 情報通信白書(総務省)

日本癌治療学会 及び ファイザー Global Medical Grants について

一般社団法人日本癌治療学会は、革新的な教育および変革戦略を実行するため、ファイザーと提携契約を締結しました。

日本癌治療学会はがんの予防、診断及び治療に関する研究の連絡、提携及び促進を図り、がんの医療の進歩普及に貢献し、もって学術文化の発展及び人類の福祉に寄与することを目的としています。

ファイザーは企業目的達成のために必要な取り組みの1つとして、「医療の格差を縮小する」ことを掲げています。また医療従事者が適切な標準治療を実践して患者のアウトカムを改善することを可能とする質の高い教育および変革マネジメントプロジェクトを推進していることから、一般社団法人日本癌治療学会とファイザー社は同じ目標を掲げています。

ファイザー Global Medical Grants (GMG) は、医療関連団体自らが立案・実行するプロジェクト(ファイザーが注力する疾患領域における、患者さんのアウトカムを改善・向上させるための研究、医療の質を改善するプロジェクト、教育プロジェクト)を支援します。

ファイザー GMG の公募型医学教育プロジェクト助成では、公募要項(RFP)を弊社 Web サイトに公開しています。公募要項には、公募の目的・締切日等のスケジュール・最終的な助成決定がファイザー社内になされる点などの詳細が記載されています。申請団体は、各 RFP に記載されている“ナレッジギャップ”を埋めることができるような教育プロジェクトの立案をしてください。

教育プロジェクトの立案・実行は、申請団体の責任のもとに行い、ファイザーがそれらに関与することは一切ありません。